

榎ノ木

第廿七号

令和5年12月1日発行
青壮年部女性部広報
題字：大内翠峰



禪興寺ホームページ

ちやず ライブペイント & 奄美シマ唄

樹木葬新墓域(岫雲の森)で5月19日祭に
合わせ、イメージイラスト作者ちやずさんのラ
イブペイント&奄美民謡コンサート(牧岡奈美
さん・石井シントロウさん)が開催されました。



岸壁前の芝生広場は大いに盛り上がりました。



出演アーティストの皆さんと！

子育て水子地藏祭り・降誕会(灌仏会)

かんぶつえ



師の飾らない御人柄とユーモア溢れる語り口

新緑滴る5月19日
 子育て水子地藏祭り&降誕会(灌仏会)が開催されました。
 今年はコロナ禍を経て、数年振りに通常開催できました。
 まず、水子地藏前にて御詠歌奉詠と絵馬を奉納し、本堂前の花御堂で灌仏会を厳修しました。
 続いて大本山妙心寺定期巡教師馬場道隆師(岡山県佛土寺住職)の御法話を拝聴しました。
 法話後には、師が特技の尺八を演奏していただき、情感あふれる音色が境内に響き渡る、またとない機会でした。多謝。



目に青葉 山ほととぎす 初鰯



起雲軒老師の遠諱法語



中央が法身性西禪師の木像（瑞巖寺）



法身窟前での辻説法（瑞巖寺）

※注1 《碓庵会》
住職が小僧修行
でお世話になった
大本山妙心寺塔
頭、大珠院故盛永
宗興老師の兄弟弟
子会

本年は禪興寺の前身長福寺開山法身性西禪師没後七百五十年に中ります。禪興寺では昨年12月既に、松島瑞巖寺住職起雲軒老師を導師にお迎えし、遠諱法要を厳修しております。本年9月28日には松島瑞巖寺にて、遠諱大法要が営まれております。また瑞巖寺法身窟前では、宮城福島教区布教師会による辻説法が約一か月間行われました。
更に、碓庵会（※注1）が禪興寺及び、瑞巖寺法身窟での諷經を実施するなど、七百五十年遠諱にまつわる様々な追悼行事が行われています。合掌

法身性西禪師七百五十年遠諱各地で 松島瑞巖寺法要&碓庵会&辻説法

たいあんかい

おんき



盛永宗興老師の墨跡を前に兄弟弟子でパチリ！（禪興寺本堂）

故人を偲ぶ一日 盂蘭盆施餓鬼会



満衆の本堂に朗々と響きます。



自然の只中で故人を偲ぶ（岫雲の森）

8月11日（祝・山の日）お盆の供養行事が営まれました。

法要後、樹木葬会員は、改めて新樹木葬墓域《岫雲の森》で諷経いたしました。

「七ツ森樹木葬」は、宮城県内初の樹木葬として平成27年に開設し、お陰様にて間もなく十年目を迎えます。

従来の樹木葬墓域《臥雲の森》に加え、新たに《岫雲の森》を開設しました。

住職・副住職の修行の師、各老大師のお名前を頂戴し、人々の魂の安寧を祈る場とさせて頂いております。

その雄大で慈悲心溢れ、野趣に富む景觀は、亡き老大師の遺徳を偲ぶ縁として永遠に刻まれるでしょう。

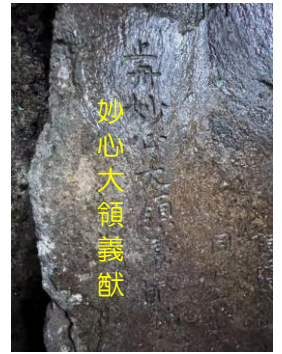


御神体の巨石前に佇む御神木 私達先祖代々の信仰の象徴です。

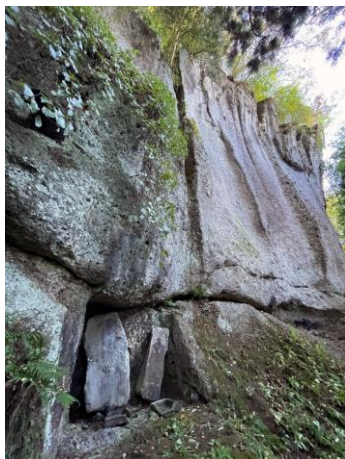
石神山精神社

吉田探訪 千二百有余年の歴史

いわがみやますみじんじゃ



「大領」の刻印



御神体の傍に禪師刻銘の碑

禪興寺のある七ツ森山麓は古来信仰深い由縁の地です。その象徴が、隣接する石神山精神社です。社名の示す通り、そびえ立つ大岩を御神体とする古い信仰の姿を今日に伝え、社殿前には坂上田村麻呂手植えとされる周囲8メートル余りの御神木が悠久の時を感じさせてくれます。

西暦七百九十年の続日本記しよくにほんぎによれば、桓武天皇かんむの時代に既に大和朝廷の信仰厚く、東北唯一平安時代に官社に列した国史掲載社です。御神体の岩窟には、禪興寺中興開山・瑞巖寺百二世大領義猷禪師の碑が祀られています。

※「東北石神様百選」山田正博編
著 プランニング・オフィス社刊

初代青壮年部・女性部会長

石垣英孝さん総代長に！



震災直後の気仙沼市地福寺の復興を支援する石垣総代長

我らが花園会、青壮年部・女性の初代会長を務めていただいた石垣英孝元会長が本年7月12日に禪興寺総代長に就任されました。

青壮年部・女性部会長時代には、東日本大震災が発生し、住職と二人三脚で壊滅的な被害を受けた沿岸部にある気仙沼市の地福寺の復興支援に駆けつけました。

震災発生後、被災地域のために懸命な活動をされた、その行動力に我々も、頼もしく感じております。

総代長に就任されても、その行動力とリーダーシップを発揮され、菩提寺の寺門繁栄佛法興隆に貢献されることを祈念いたします。

祝百寿 高橋台子さん

大本山妙心寺より祝の輪袈裟



輪袈裟の緋色は、老師様と同色!?です。

今後の行事予定

◎12月9日(土)

大般若祈祷・成道会

青壮年部・女性部忘年会

◎2月10日(土) 予定

涅槃会

◎3月25日(月)

境内墓地清掃

編集後記

先日、住職と石神山精神社の石碑を神社宮司の吉田清秀さん立ち合いで、拝見してまいりました。

禪興寺中興の祖、松島瑞巖寺百二世大領義猷和尚刻銘の石碑です。そそり立つ御神体の巨石の直下に安置されています。

本年は、禪興寺開山法身性西禪師七百五十年遠諱の年であり、石神山精神社の千二百余年の歴史と重ね合わせ、感慨深いひと時でした。

吉田の地に根付く深い信仰心に私自身が連なる思いでした。



僕もお盆準備するよ！

広報部

部長 相澤敏晴

副部長 佐藤彰

部員 早坂妙子 小川弘吉

発行

禪興寺花園会青壮年部・女性部 広報部

〒九八一・三六二五

宮城県黒川郡大和町吉田字長福寺一

電話番号 〇二二・三四五・二〇六三